

野のはな

同窓会会報
第7号
発行:2008年9月1日

家政学部

家政学科・生活経営学科

生活環境学部

生活環境情報学科・
環境デザイン学科・食環境栄養学科

金城学院大学 同窓会「野のはな」事務局
〒461-0011 名古屋市東区白壁4-64 みどり野会館内
tel.(052) 931-4480



「学院創立120周年、 大学創立60周年」

学院長・学長 柏木 哲夫

よくご存じのように、金城学院は1889年、アメリカ人宣教師ミセス・ランドルフが私邸の中に設立した「私立金城女学校」がルーツです。来年、金城学院は創立120周年を、大学は創立60周年を迎えます。学院、大学は様々な記念行事を計画しています。どのような記念行事をするのがよいか、全学生、教職員、卒業生の皆様からアイデアを募集して、学院にふさわしい行事にしたいと願っています。「野のはな」の読者からも是非良いアイデアをお聞かせ頂きたいたいと思います。

学院としては「主を畏れることは知恵の初め」をスクールモットーとして、大学としては「強く、優しく。」を教育スローガンとして、キリスト教を基盤とした女子教育を実践してきました。

21世紀は、女性と男性がそれぞれの長所を發揮して、あくまで対等な立場でパートナーとして協力しながら、社会をかたちづくっていく時代です。そこに女子大学の果たすべき役割があるはずです。金城学院大学はこれからも、女性のための理想的な教育を追究し続けます。

18歳人口の減少とともに、日本の私立大学は、受験生確保の面で厳しい状況に立たされています。本学もその例外ではなく、本年度の入試において、定員割れは避けることができましたが、受験生はかなり減少しました。教職員が協力して、大学の魅力をアップし、「選ばれる大学」であり続けたいと願っています。

幸い本学は2008年3月に大学基準協会より、金城学院大学は大学基準に適合しているものと認定されました。また、「ニッポンの大学」(教育ジャーナリストの小林哲夫著)では、本学が「美しいキャンパス」の第3位にランクされました。(神戸女学院、活水女子大学に次ぐ)。ハード面だけではなく、ソフト面でも大学全体の「教育力」を高める努力を続けたいと思っています。



「提案し実践 できる女性」

生活環境学部長 成瀬 正春

「野のはな」の会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。日頃より生活環境学部の教育と研究にお力添えを戴きまして誠にありがとうございます。おかげさまをもちまして、2007年度は、262名の卒業生を送り出しました。就職希望者に対する就職決定率は97.9%でした。2007年度の4年生を対象とした「野のはな賞」の受賞者は、4名でした。1~3年生を対象とした「野のはな奨励賞」の受賞者は24名でした。受賞者は、受賞の喜びを噛み締めるとともに、卒業生の皆々様のご厚情に感激し、新たな気持ちで勉学に励む決意をしていました。2008年度は、249名の新入生を迎える、現在の在籍学生数は1,046名です。生活環境学部では、「強く、優しく。」の大学の教育スローガンのもと、質の高い生活を提案し実践できる女性を育成しています。

生活環境情報学科では、自分のライフスタイルデザインを描ける女性を育成しています。2008年度からは、2級ファイナンシャルプランナー技能士試験の受験資格が得られる独自の教育プログラムを開始しました。環境デザイン学科では、人と環境への優しさをもち続けながらものづくりを提案し実践できる女性を育成しています。学生が卒業論文で取り組んだ「中途障がいに見舞われた女性へのファンションサポート」は新聞でも紹介され注目を集めました。食環境栄養学科では、人を健康にする管理栄養士を育成しています。食生活をトータルに管理し、健康な食生活を提案し実践できるスペシャリストを育成しています。

本学部では、教育と研究の向上を目指して、専任教員の授業公開によるFD(Faculty Development)活動を組織的に取り組んでいます。今年度は、非常勤講師および助教の評価も組み入れた更なる教育向上プログラムを実施しています。今後とも生活環境学部の教育に格別のご高配を賜りますように、重ねて宜しくお願い申し上げます。

「野のはな」会員の皆様の益々のご発展を祈念申し上げます。

昨年の総会では、恩師・藤城榮一先生に「教員生活をふりかえって」と題してご講演して頂きました。先生は、金城学院大学・家政学部教授、生活環境学部長として長年ご活躍され、現在は非常勤講師としてご指導されています。



ご講演では31年間の教員生活を振り返られ、教師を志すきっかけとなつた小学校時代の恩師、女子教育に携わるきっかけとなつたお母様の思い出、大学で生活科学の指導を受けた恩師のことなどを感慨深く話されました。

ご講演では31年間の教員生活を振り返られ、教師を志すきっかけとなつた小学校時代の恩師、女子教育に携わるきっかけとなつたお母様の思い出、大学で生活科学の指導を受けた恩師のことなどを感慨深く話されました。

ティを催し、美味しい料理やドリンクにどのテーブルもお話を弾みました。

最後に、布花作り講師・住田多加世先生のご指導によりコサージュ作りを体験しました（写真右上）。本来なら少々難しい工程でしたが、染色・カットなどあらかじめ準備されていたので皆スムーズにお花作りを楽しみました。同じ材料から生まれた作品でもそれぞれ作り手の個性が出て、ひとつひとつ表情の違つた布花になつていたのが印象的でした。

「目標を持つことの大切さを伝えたい」と述べられ“美しくあれ、優しくあれ、たくましくあれ”というメッセージを送つて下さいました。その後、ご来賓の先生方にもそれぞれ楽しいスピーチをして頂き会場はとても和みました。

昼食は初めての試みとなる、ケータリング利用のランチパー

同窓会

「野のはな」第7回総会



●日 時 2007年10月27日（土）午前11時～

●場 所 金城学院大学本部棟502号室

「野のはな」に想う



●「野のはな」会長 安藤 千恵子（家政7回生 S47卒）

2001年発足以来、歴代役員幹事の皆様のご尽力、そして会員の皆様のご協力で「野のはな」も着実に大地に根を張つていきました。華やかさは無くても可憐に力強く咲く野のはな、回を重ねるごとに命名の妙を感じております。

同窓会、それは同じ学び舎に集つた者が年齢も立場も越えてコミュニケーションの輪を広げ、学生時代の数年間の先輩後輩というのではなくもっと幅広く絆の糸を紡げる素晴らしい出会いの場所です。一昨年から始まりました参加型の総会をいろいろなテーマで今後も継続していきたいと思っております。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

卒業生訪問

趣味を生かして いきいきと!

家政学科3回生(S43卒) 堀田 真佐子

主人が突然亡くなってしまって気落ちしている時、友達からあまり考えごとばかりしていたら身体によくないから、ダンスでもしたらどうと誘われました。



初めは断っていたのですが、気分転換になればと行くことにしました。最初のうちはリズムに乗れず、相手の足を踏んだりしてそれは大変でした。途中何度もやめようかと思ったことでしょう。でもここでやめれば他人から三日坊主だったのかと云われるのがしゃくだと思いつつ練習に励み続けた結果、皆さんと楽しく踊れるぐらいになってきました。特にパーティでドレスに着替えて踊る時は、胸がドキドキします。でも終わってみるともう少し踊ってみたいと思えるほど楽しく、口には言い表せない感動があります。

また、カラオケを楽しむようになり老人ホームへの慰問などをしています。お年寄りのさわやかな顔、気さくな心、人ととのつながりを大切にする心持ちなどお年寄りから教わることが沢山あります。

これからも人生の平凡な生活の中でダンスとカラオケを楽しみながら、生きる喜びや健康保持のためにボランティア活動を続けていきたいと思っております。



家政学科16回生(S56卒) 辻 佳代子

私がハンドベルと出会ったのは、高校一年生の時で、偶然日曜礼拝に訪れた東海教会でした。金城高校の坂野延子先生の御指導で、高校、大学在学中、日曜礼拝、クリスマス礼拝など「東海教会ハンドベルクワイヤ」の活動をさせていただきました。ハンドベルの音色はとても優しく、神秘的で心が癒されます。昨年加入了「リリオンベルズ」の一員としてこれからもアンチエイジング効果のある音楽と楽しく付き合っていけたらと思っています。



●Lily-on Bells (リリオンベルズ)

昨年の1月に結成、3オクターブのハンドベルを使って演奏します。メンバーは全員、金城学院の卒業生で、ハンドベル経験者です。年令は40代中心、楽しみなティータイムをいれながら、名古屋東教会を会場にして月に2回程練習しています。

昨年はロータリークラブやグループホームのクリスマス会、日進の教会の献堂式等で演奏いたしました。今秋は秋にワンコインコンサートを予定しています。練習曲も讃美歌からアニメ、ニューミュージックと幅広く、ハンドベルの魅力を追究しつつ技術をみがいています。リリオンは経験者のチームですが、ハンドベルは人数さえ集れば、すぐに音が出せます。はじめてだけやってみたい方、連絡お待ちしています!

多田羅 智穂子(金城学院児童学科 S56卒)

日本ハンドベル連盟認定講師、ケリーベルクワイアメンバー、RMS音楽講師。

野のはな基金

“野のはな基金”は金城学院大学生活環境学部の先生方により厳正に管理・運営されています。第一回目となる2008年3月は次のように運営・授与されました。受賞者の複数の方からお礼状が寄せられ、喜びと「野のはな」への感謝であふれていました。

「野のはな」基金の授与

野のはな基金取扱要領第2条に従って平成19年度の野のはな基金は下記の通り使途されました。

●野のはな賞 生活環境学部に在籍する4年生のうちから成績優秀者4名

●野のはな奨励者 1~3年生で学業成績、社会貢献、課外活動で優れた成果を挙げた学生24名

金城学院 創立120周年・大学創立60周年

金城学院周年記念事業の皮切りとして、みどり野会が協賛し、J.Sバッハ作曲『マタイ受難曲』の演奏会が行われることになりました。演奏は、鈴木雅明指揮のバッハコレギュムジャパンで、世界的に最高級の評価を受けている古楽オーケストラです。みどり野会員はチケットの先行予約ができますのでお早めにお申込みください。お問い合わせ/みどり野会:052-931-4480

日 時 2009年4月4日(土) 17:00開演

会 場 しらかわホール

入 場 料 12,000円【全席指定、通常15,000円相当】

申込期間 みどり野会先行発売/10月27日(月)~11月21日(金)

申込方法 郵便局のみどり野会振込専用口座へご入金ください。
口座:「みどり野バッハコンサート」00890-6-169332



2008年度 総会のご案内

講演会・ランチパーティー・カード作り

日時 2008年10月18日(土) 11:00~(受付 10:30)

場所 金城学院大学 W9号館1F

会費 1,000円(当日徴収)

●講演会

中森 千佳子 教授

演題:「豊かに生きるために—地域通貨の話」

●ランチパーティー

ヒューマンテーブルカンパニー

●花びらで描く季節のカード

吉田 和代 先生

●中森 千佳子 教授のプロフィール

出身地:三重県伊賀市(旧上野市)

出身大学:お茶の水女子大学大学院家政学研究科家庭経営学専攻

専門:生活経営学、消費者教育

金城学院大学には1998年10月ご着任され、現在生活環境学部生活環境情報学科

教授としてご活躍中。前生活環境学部長。



●吉田 和代 先生のプロフィール

押し花&フラワーアレンジメント教室「hana塾」主宰。英国、コンスタンススプライフラワースクールにて花装飾を学ぶ。帰国後、押し花を学び、ふしげな花俱楽部インストラクター取得。東京駐日クロアチア共和国大使館などで個展を開催。ヴォーグ学園名古屋校 講師

クラス会便り

●家政学部家政学科 第3回生 A・B組クラス会

2007年11月4日(日)、卒業以来、2年ごとに続けた同窓会20回目をミッドランドスクエア「福臨門酒家」で開きました。近況報告をしあって楽しいひとときを過ごしました。



2007年度 収支決算報告

2006.10.1~2007.9.30

2007年10月5日



●家政学部家政学科 第5回生 B組クラス会

2008年6月7日(土)、キャッスルプラザで、東京、横浜、浜松と遠方からの出席者も加わり、開きました。還暦を過ぎ、話題はつきなく、3時間程も楽しく過ごしました。来年は6月6日(土)です。多数の御参加お待ちしています。

お手元の会報をご確認下さい。

●家政学部家政学科 第7回生 B組クラス会

2007年12月8日(土)、名古屋マリオットアソシア梨杏に於いて出席者13名で開きました。遠くは東京、神奈川から、30数年ぶりの参加の方もあり、楽しい時間を過ごしました。



お願い

総会のご案内および会報誌は、終身会費納入済みの正会員様のみに送付させて頂いております。お知り合いの中に未納の方がありましたら、下記宛て送金頂き、正会員になって頂くようご案内下さい。尚、必ず旧姓・在籍学科・卒業年度または生年月日のご記入をお願い致します。

郵便振り込み 00880-6-111746

金城学院大学同窓会「野のはな」宛 金額/10,000円

〒461-0011 名古屋市東区白壁4-64 みどり野会館内
「野のはな」事務局 tel.(052) 931-4480

編集後記

会員相互の親睦を深める会報として、ご意見・ご希望・情報多数お待ち致しております。会報作りに是非ご参加下さい。発刊にあたり、ご協力頂きました皆様には深く感謝申し上げます。

広報部一同